

別紙才二

不籍

入籍番号

一九、八、二一 内地出生

一九、八、二六 青島空入所

青島空三三 第三九期飛歸生(偵察)ト

レテ勤務中

受傷月日 二〇、七、二八

受傷箇所 前頭部

原因 著陸時飛機が故障ニ因ル

死歿月日時 二〇、七、二八 一四三〇

青島大空新病室ニテ死歿

以工

42996

別紙より

皇後局人事新張歴々 戦歿者停の方へ

突然 つかひは 係上います

私は

放 (山口人事新張 元海軍二軍飛行兵曹

本籍

の 所 郷 望 と し て 同 じ と 言 へ ば 海 軍

統 治 所 に 勤 務 し た も の の ち

皇 軍 参 謀 長 官 海 軍 参 謀 長 官

彼 は 昭 和 二 十 年 七 月 二 八 日 皇 海 軍 大 學 路 新 所 病 室

に 死 歿 致 した 皇 後 局 人事 部 と

連 絡 し た も の の ち 係 上 います

去 年 八 月 十 二 日 昭 和 二 十 年 七 月 二 八 日 皇 海 軍 大 學 路 新 所 病 室

に 死 歿 致 した 皇 後 局 人事 部 と

皇 人 事 部 と 皇 海 軍 大 學 路 新 所 病 室

に 死 歿 致 した 皇 後 局 人事 部 と

しを預いたのをしたの其の時公報は大概一ヶ月以
内には出せるといふことをしつた。後骨も異人事部
へ（宛を係す）轉送され、そのの確の安やして
歸山しつた。ある日（九月）人事部の方
より、年々のつたすが異人の語られ、ことには
祝地部部長（或は司令官）に知れせんか）よりの
書類が来るといふので、公報に伝達も出来
ないといふことゝなり
私が出島したとき、五月島航を所より書類は来
ておると、確に事がありませう。交付の方は余り
にも人を侮辱しつたと思はれます。普通の事な
らうとせうが、教友の尊い遺骨のこと取なす
けなすに及びます。

その後危惧さへ辨へば後しに及びふ報も
通知出来ぬことと思ひます。私達が証人と
なりまひぬ。一刻も早く送りせられ、道
族の方を安心させようとい
ごう。たゞあの歴代な道者の未処理が一ツに
け減少となると思ひます。さうして未処理を
迅速に解決せられんことを希冀します。

35155

35155

死没者調書

本籍地

現住所

所屬部隊

入團年月

官等級

死没年月日

死没場所

勤務概要

卒病(受傷)年月日

死没(受傷)年月日

卒病(受傷)状況

死没(受傷)状況

死没(受傷)場所

右二司以

黃海部隊第二十六号 既潜航

昭和六年七月一日

官等級 兵曹 氏名

昭和二年二月一日 吳軍港 玉港

黄海方面哨戒 獲衛任務

役種 徴兵

兵種 信号

勤務種 不明

右中告又

軍手帳 第三 兵 五

本署地	現任所	所屬部隊	官等級	入籍番附
	左同じ	黃田部隊第二不呂配隊員	四等兵	

備考

(一) 本調書ハ部隊長ハ現務取扱者等ニ於テ吳地方復興局人事課長宛通報ニ付ハト認ルセリミ付記載ス
 (二) 吳鎮在籍特務士官准士官下士官兵ニ付記載ス
 (三) 同府縣ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
 (四) 知得ナル範圍ニ於テ出来得止限リ詳細ニ記載ス
 (五) 地人ノ開キテ承知ナル事項ハ各當該欄ニ相手方記載ス
 (六) 吳市

吳地方復興局人事部長宛

死沒者調書

本籍地
左司

遺族
遺族
遺族

所屬部隊

役種

官等級

死没年月日

勤勞概要

功勞概要

功勞概要

功勞概要

上海海軍特別陸戰隊

予補

役

兵種三計

兵

一至

元名

功勞

昭和七年六月十八日

昭和七年六月十八日

昭和七年六月十八日

昭和七年六月十八日

昭和七年六月十八日

昭和七年六月十八日

43676

右 申 告

記 事

武元時狀況
元七年月日時刻

後魏帝將車被傷死
魏和五年四月二十日
洛陽病院
院中延八月三日
中書省

右 申 告

昭和二十一年

月 日

本籍地
所屬部
氏名

[Redacted]

官 軍 級

海軍少將

入籍在抗

[Redacted]

426-10

京都府 舞鶴市

舞鶴地方復員局 人事部

御中



5045

CCB-16-243



